

鳥羽志摩記者クラブ
加盟報道機関 各位

令和6年9月19日（木）

【照会先】

鳥羽市消防本部

担当：消防総務室 平井 伸樹

Tel 0599-25-2072

鳥羽市消防団秋季訓練の開催について

● 概 要

当市では、消防団教育の一貫として、市内全域（離島含む）の消防団員を招集した教育訓練を年3回実施しており、市内各地域において様々な訓練を実施しております。今回の消防団秋季訓練は、能登半島地震を契機に震災対応訓練を計画しております。

● 日 時

令和6年9月28日（土） 午前8時30分 （8時00分から受付）

● 場 所

鳥羽市消防本部 車庫内（鳥羽市安楽島町1459番地3）

● 訓 練 内 容

1）廃棄ホースを活用した担架作成

昨年度から志摩市において、出動・訓練・経年劣化等により修理不可能となった廃棄ホースを活用し、大規模災害発生時に不足しがちな搬送資機材として、簡易担架の製作に取り組んでいる。この取り組みは今回の能登半島地震の様に公助が行き届かない現場において活動される消防団の資器材不足を解消し、廃棄物削減に貢献と地域防災力向上の一助になると判断し、廃棄ホースを活用し担架を作成する。

2) トリアージ及び搬送訓練

南海トラフ地震発生時には多くのケガ人発生が発生し、能登半島地震の様に常備消防、警察及び自衛隊等公助による活動が即座にできない場合、消防団員によりケガ人の搬送が想定できます。その中で限りある資器材を有効に活用し、救える命を救うために知識を消防団に知っていただき、来るべく災害に備える訓練となります。

※トリアージとは災害時に多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために、傷病者に治療優先順位を決めること。

【参考：志摩市消防団による担架作成】



駐車場及び訓練会場図

